

鬼はわらう 作曲・編曲：teruny 作詞：雲井砂

旅立ちから 幾星霜 落とし物は 拾わずに
足跡すら 川流れ 傍らに影ひとつ

ああ水臭い 水草に 自らさえ 満ちぬところに眩き
私はなぜ生まれたの 映し鏡よいま答えろ

懐かしさに懷かれても夏空のカケラにも 私の過去は きょうび薄氷
髪飾りも またたく間も 歩きにくい履物も
鬼は嗤う ひとのふりだと 鬼は嗤う 言葉は要らず

旅立ちから 幾星霜 貴方と似た ものはない
変わる景色は うろ覚え 傍らに影ふたつ

ああ鬼の顔 恋の顔 貴方の顔 映し鏡よ映して
変わらぬもの変わるものも渴ききりのところも 貴方とつないだ きょうがあるから
偽りでも 真似事でも 似合わない着物でも 隣 歩きたいよ

夏空を見上げた 孤独なあの子は 微笑み 語った ひとのカケラを
群青の花火は 美しく咲いた それはまるで桔梗の花だ

映し鏡にふたり笑う

懐かしさに懷かれても夏空のカケラにも 私の未来 きょうとつながるの
髪飾りも またたく間も 歩きにくい履物も
鬼は笑う ひとのふりでも 鬼は笑う 幸せです、と